

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 株式会社 牧野フライス製作所
 コード番号 6135 URL <http://www.makino.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 牧野 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 細島 英一
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東大

TEL 046-284-1844

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	81,170	—	1,660	—	634	—	△2,377	—
20年3月期第3四半期	94,442	△1.9	9,878	△9.6	10,335	△3.1	6,990	4.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△20.39	—
20年3月期第3四半期	58.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第3四半期	159,155	744.44	87,990	744.44	53.6	744.44
20年3月期	171,652	819.77	98,520	819.77	55.8	819.77

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 85,340百万円 20年3月期 95,840百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
21年3月期	—	7.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△24.7	△900	—	△2,100	—	△5,200	—	△45.36

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 119,944,543株 20年3月期 119,944,543株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 5,307,386株 20年3月期 3,033,527株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 116,599,533株 20年3月期第3四半期 119,429,357株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては平成20年10月28日に公表した内容から変更しております。また、上記の配当予想につきましては平成20年4月30日に公表した内容から変更しております。詳細につきましては、本日(平成21年1月30日)公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。
3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間に入り、米国に端を発した世界的な金融危機が実体経済に深刻な影響を及ぼしています。

工作機械業界も影響を受け、(社)日本工作機械工業会の統計によると、会員企業の受注総額は、ここ数年、月1,100億円を下回らない状態で推移していたものの、当第3四半期に入り、10月が前年同月比60.0%、11月が同37.9%、12月が同28.2%とかつてないような急激な受注減に見舞われました。耐久消費財に対する購買意欲が世界的に冷え込んだことで、関連する業種全般で工作機械需要の減退傾向あるいは投資計画の下方修正の動きがさらに加速し、当社グループの受注も当第3四半期に入り急速に減少しました。

地域別の状況は以下のとおりです。

日本市場においては、金型産業向けの需要のみならず、部品加工の産業向けの需要も落ち込み、当第3四半期の10月および11月の月20億円前後の受注額が12月には半減しました。

アジア市場においては、中国において、IT関連ならびに自動車関連金型向けの需要が減少し、また自動車部品加工の業種では設備投資計画の延期または中止が増え、その結果受注状況は直前の第1,第2四半期の水準から半分以下に落ち込みました。インドにおいて、自動車および二輪車産業向けの需要が減少し、さらに農業機械向けが不振だったことにより、受注状況は直前の第1,第2四半期の水準の4割程度に留まりました。

ヨーロッパ市場においては、第2四半期に続き、当第3四半期も広い業種で需要が急減しました。

アメリカ市場においては、需要の減少が比較的少なかったものの、当第3四半期半ばになると顧客の資金繰りが悪化し、受注環境は厳しくなりました。特に自動車関連業種では、金融機関が貸し付けに消極的になっていることもあいまって受注が減りました。

このように全ての業種で工作機械需要が落ち込むという状況下にあっても、当社グループは、今後回復に向かうと考えられる業種の新規投資に迅速に対応できるよう製品開発および加工技術研究を進めております。自動車の軽量化により金型の精度一新を迫られる顧客層のニーズに応えるために6軸仕様マシンングセンタ「MCC2013VG」を発売します。発電・エネルギー産業向けには、1年前から新製品開発を進めてきた大型の横形5軸マシンングセンタ2機種種の販売時期を早める決定を致しました。さらに、燃費向上を目指した大型航空機や新規発売の見込まれる中小型航空機の需要回復に向け、アルミ加工及び難削材加工用の横形マシンングセンタ2機種を発売いたします。特に、難削材については、加工技術全般の提案が出来る研究体制も整えました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、811億70百万円（前年同期比：14.1%減）、営業利益は16億60百万円（前年同期比：83.2%減）、経常利益は6億34百万円（前年同期比：93.9%減）、四半期純損失は23億77百万円（前年同期は四半期純利益69億90百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ124億96百万円減少し、1,591億55百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券の期末時価の低下によるものであります。負債は、支払手形及び買掛金の減少115億79百万円、社債の増加100億円などの結果、19億66百万円減少し、711億65百万円となりました。純資産は、105億30百万円減少し、879億90百万円となりました。この主な要因は、為替レートの変動により、為替換算調整勘定が32億19百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少による収入143億45百万円、仕入債務の減少による支出75億17百万円などの結果、38億10百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得62億47百万円などにより、65億97百万円の支出となりました。また財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入100億円および長期借入金による収入55億円などの結果、109億26百万円の収入となりました。これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ71億36百万円増加し、327億57百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想に関しましては、本日、別途公表いたしましたとおり、世界経済および工作機械市場の現状を考慮し、平成20年10月28日に公表した平成21年3月期の連結業績予想数値を次のとおり修正いたします。

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	111,000	3,300	3,300	1,100	9.41
今回発表予想(B)	100,000	△900	△2,100	△5,200	△45.36
増減額(B-A)	△11,000	△4,200	△5,400	△6,300	—
増減率(%)	△9.9	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	132,739	14,600	13,723	9,002	75.79

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の計上基準など一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。なお、これによる損益に与える影響はありません。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当連結会計年度より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号)を適用しております。なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

④ 在外子会社等の財務諸表項目の換算方法

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該子会社の決算日の直物為替相場により換算しておりましたが、当連結会計年度より期中平均相場による換算に変更しております。この変更は連結会計期間を通じて発生する収益および費用の各項目について、より実態に即した換算を行うために行ったものであります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,169	21,002
受取手形及び売掛金	28,313	45,313
有価証券	2,206	4,737
製品	12,696	10,880
原材料	14,170	14,323
仕掛品	11,299	11,604
貯蔵品	3	3
繰延税金資産	1,557	2,998
その他	3,576	3,425
貸倒引当金	△312	△421
流動資産合計	104,681	113,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,554	24,061
機械装置及び運搬具(純額)	3,418	3,798
工具、器具及び備品(純額)	2,977	2,807
土地	9,403	7,802
建設仮勘定	559	265
リース資産	1,117	—
有形固定資産合計	40,031	38,735
無形固定資産		
のれん	88	117
その他	788	679
無形固定資産合計	876	797
投資その他の資産		
投資有価証券	7,477	11,585
長期貸付金	493	587
繰延税金資産	581	824
その他	5,183	5,433
貸倒引当金	△43	△52
投資損失引当金	△126	△126
投資その他の資産合計	13,566	18,251
固定資産合計	54,474	57,785
資産合計	159,155	171,652

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,728	28,308
短期借入金	3,779	4,491
1年内返済予定の長期借入金	2,186	3,731
未払法人税等	980	2,221
役員賞与引当金	—	70
その他	10,625	12,424
流動負債合計	34,300	51,247
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	9,973	4,925
繰延税金負債	2,630	3,302
退職給付引当金	1,351	1,625
役員退職慰労引当金	1,288	1,503
その他	1,620	527
固定負債合計	36,864	21,884
負債合計	71,165	73,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,263	19,263
資本剰余金	32,595	32,595
利益剰余金	41,036	45,171
自己株式	△2,764	△2,233
株主資本合計	90,131	94,797
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,639	4,254
為替換算調整勘定	△6,430	△3,211
評価・換算差額等合計	△4,790	1,043
少数株主持分	2,650	2,680
純資産合計	87,990	98,520
負債純資産合計	159,155	171,652

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	81,170
売上原価	58,429
売上総利益	22,740
販売費及び一般管理費	21,080
営業利益	1,660
営業外収益	
受取利息及び配当金	336
その他	466
営業外収益合計	803
営業外費用	
支払利息	417
為替差損	789
その他	622
営業外費用合計	1,829
経常利益	634
特別利益	
固定資産売却益	13
投資有価証券売却益	122
貸倒引当金戻入額	32
特別利益合計	168
特別損失	
固定資産除却損	47
投資有価証券評価損	34
特別損失合計	81
税金等調整前四半期純利益	721
法人税等	3,119
少数株主損失 (△)	△20
四半期純損失 (△)	△2,377

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	721
減価償却費	2,709
のれん償却額	29
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△67
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△215
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△84
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△70
受取利息及び受取配当金	△336
支払利息	417
為替差損益 (△は益)	110
有形固定資産売却損益 (△は益)	△13
有形固定資産除却損	47
売上債権の増減額 (△は増加)	14,345
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,704
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,517
その他	△661
小計	5,709
利息及び配当金の受取額	338
利息の支払額	△354
法人税等の支払額	△1,882
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	△400
有価証券の取得による支出	△150
有価証券の売却による収入	50
有形固定資産の取得による支出	△6,247
有形固定資産の売却による収入	76
その他	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,597
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△267
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△20
長期借入れによる収入	5,500
長期借入金の返済による支出	△1,997
社債の発行による収入	10,000
自己株式の取得による支出	△531
配当金の支払額	△1,753
少数株主への配当金の支払額	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,926

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,004
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,136
現金及び現金同等物の期首残高	25,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,757

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

2. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
1. 外部顧客に対する 売上高	33,189	15,572	21,756	10,652	81,170	—	81,170
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	50,517	3,756	341	53	54,669	(54,669)	—
計	83,706	19,328	22,097	10,706	135,839	(54,669)	81,170
営業費用	84,199	19,167	20,722	10,275	134,364	(54,854)	79,510
営業利益 又は営業損失(△)	△492	161	1,375	431	1,475	184	1,660

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アジア・・・シンガポール
 アメリカ・・・アメリカ
 ヨーロッパ・・・ドイツ

3. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	21,878	11,920	20,370	2,144	56,313
II 連結売上高(百万円)					81,170
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.0	14.7	25.1	2.6	69.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アメリカ・・・アメリカ・カナダ
 ヨーロッパ・・・ドイツ・イタリア・イギリス
 アジア・・・中国・インド・タイ・韓国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 前第3四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		
	金額(百万円)		百分比 (%)
I 売上高		94,442	100.0
II 売上原価		64,911	68.7
売上総利益		29,530	31.3
III 販売費及び一般管理費		19,652	20.8
営業利益		9,878	10.5
IV 営業外収益			
1 受取利息及び配当金	348		
2 その他の収益	689	1,037	1.1
V 営業外費用			
1 支払利息	444		
2 その他の費用	135	579	0.6
経常利益		10,335	10.9
VI 特別利益			
1 固定資産売却益	47	47	0.0
VII 特別損失			
1 固定資産除却損	44		
2 たな卸資産処分損	27		
3 海外子会社営業権評価損	283		
4 投資有価証券評価損	12	367	0.4
税金等調整前四半期純利益		10,015	10.6
法人税等		2,762	2.9
少数株主利益		262	0.3
四半期純利益		6,990	7.4

(2) (要約) 前第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	10,015
減価償却費	2,259
売上債権の減少額(△増加額)	8,457
たな卸資産の減少額(△増加額)	△4,591
仕入債務の増加額(△減少額)	△2,285
その他	△4,091
小計	9,763
利息及び配当金の受取額	347
利息の支払額	△473
法人税等の支払額	△3,461
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,176
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△4,242
有形固定資産の売却による収入	565
その他	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,714
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	317
長期借入金の返済による支出	△1,848
配当金の支払額	△1,973
少数株主への配当金の支払額	△377
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,882
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△29
V 現金及び現金同等物の増減額	△1,451
VI 現金及び現金同等物の期首残高	27,761
VII 連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額	384
VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高	26,694

(3) セグメント情報

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
1. 外部顧客に対する 売上高	43,280	20,474	18,143	12,544	94,442	—	94,442
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	52,510	3,868	614	69	57,063	(57,063)	—
計	95,791	24,342	18,758	12,614	151,505	(57,063)	94,442
営業費用	89,311	22,805	17,957	11,899	141,973	(57,409)	84,564
営業利益	6,480	1,536	800	714	9,531	346	9,878

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アジア・・・シンガポール
 アメリカ・・・アメリカ
 ヨーロッパ・・・ドイツ

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	18,875	13,593	27,342	2,262	62,074
II 連結売上高(百万円)					94,442
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	20.0	14.4	29.0	2.4	65.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アメリカ・・・アメリカ・カナダ・メキシコ
 ヨーロッパ・・・イタリア・ドイツ・イギリス
 アジア・・・中国・インド・韓国・シンガポール

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

「参考資料」受注及び販売の状況

当社グループは工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。以下は機種別の状況を記載しております。

1. 受注の状況

受注高

(単位：百万円未満切捨て)

区 分	前年同四半期連結累計期間 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年12月31日	
	金 額	比率(%)	金 額	比率(%)
マシニングセンタ	75,655	70.1	51,030	66.7
放電加工機	10,211	9.5	6,482	8.5
フライス盤	839	0.8	666	0.9
そ の 他	21,207	19.6	18,290	23.9
合 計	107,913	100.0	76,470	100.0

(注)上記の金額には消費税等は含まれておりません。

受注残高

(単位：百万円未満切捨て)

区 分	前年同四半期末 平成19年12月31日		当第3四半期連結会計期間末 平成20年12月31日	
	金 額	比率(%)	金 額	比率(%)
マシニングセンタ	45,998	86.5	33,504	86.0
放電加工機	4,013	7.5	2,961	7.6
フライス盤	246	0.5	192	0.5
そ の 他	2,909	5.5	2,298	5.9
合 計	53,167	100.0	38,957	100.0

(注)上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 販売の状況

販売実績

(単位：百万円未満切捨て)

区 分	前年同四半期連結累計期間 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年12月31日	
	金 額	比率(%)	金 額	比率(%)
マシニングセンタ	64,008	67.8	56,114	69.1
放電加工機	8,897	9.4	6,442	7.9
フライス盤	884	0.9	642	0.8
そ の 他	20,650	21.9	17,970	22.1
合 計	94,442	100.0	81,170	100.0

(注)上記の金額には消費税等は含まれておりません。